

太陽電池モジュール基礎架台 ソーラーキーパー

ソーラーキーパーの特徴

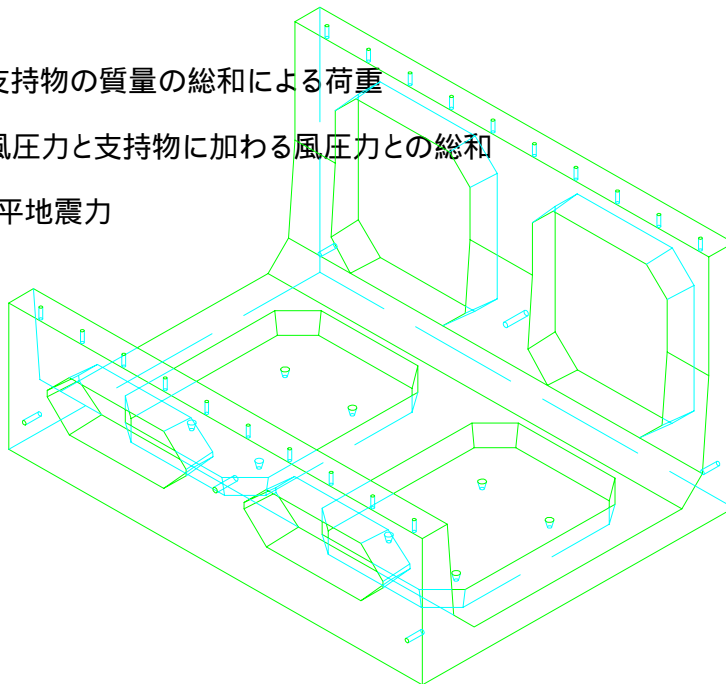
- 「**工期の短縮**」 基礎部・架台部を一体化し、品質管理のもと予め工場生産することにより、現場での**全体工期を大幅に短縮**する。
- 「**耐久性**」 コンクリート製にすることで、鋼材と比べ**耐久性に優れます**。
- 「**追従性**」 **様々なモジュール寸法**に対応し取付が容易です。また、パネル設置プランに合わせ製品形状・寸法・角度等様々な要望に対応可能です。
- 「**経済性**」 **全体工期の短縮**。また架台設置部は防草効果があり、初期対策費及び維持管理費用を低減する。
- 「**施工性**」 基礎工を必要とせず整地のみで設置可能。また、**自重で風荷重等に抵抗するため、施工は据付のみ**で掘削やアンカーをとる必要がありません。アスファルト上でも問題なく設置可能です。

「設計方法」

JIS C8955:2004「太陽電池アレイ用支持物設計標準」に準拠し検討を行っています。

「想定荷重」

- 1.固定荷重:モジュールの質量と支持物の質量の総和による荷重
- 2.風圧荷重:モジュールに加わる風圧力と支持物に加わる風圧力との総和
- 3.地震時荷重:支持物に加わる水平地震力



㈱丸治コンクリート工業所

担当:大嶽 秀暢

(オオタケ ヒデノブ)

TEL:0574-26-1291

FAX:0574-26-6688

Email:h-ohtake@maruji.com

施工手順

Construction Procedure

特別な基礎工事を必要とせず整地のみで設置できるので、短い納期で竣工できます。

① 基礎レベル調整



基礎砕石施工終了後、空練りモルタルまたは砂の敷均しを行います。
・基礎砕石は10cmを標準として、振動コンパクタ等により転圧を行います。
・敷モルタルまたは砂は3cmを標準とします。

② 製品据付け



ソーラーキーパーをクレーンで所定の位置に据付けます。

③ 製品連結



連結金具によりソーラーキーパーの連結を行います。

④ レールアンカー、モジュール受材取付け



設計に合わせてレールアンカー取付け(後付けレールタイプのみ)、
モジュール受材の取付けを行います。

⑤ モジュール取付け



モジュールを取付け、受材を固定します。

⑥ 竣工





